

# 編 集 後 記

大学財務経営研究第7号が完成しました。

今回は、当センター教員の研究論文のほか、外部から寄稿・投稿されました論文のうち7本を、審査の上、研究論文として掲載致しました。いずれも高等教育に関わる重要課題が取り上げられておりますが、従来から対象となっていた政府財政措置以外のファイナンス面に焦点を当てた論文が複数採録されている点で特徴のある内容となっております。

また、ノルウェイ・オスロ大学のTom Christensen氏は、平成21年度に当センターの外国人客員研究員として赴任された方であり、日本の国立大学法人化の特色をNPMやPost-NPMといった海外の行政改革のフォーマットとの異同から説明を試みた意欲的なアプローチを披露しています。

国立大学法人も第二期中期目標期間が始まり、今後のマクロ的な制度の方向性および個別大学のミクロの戦略方針を検討する際に、ご参考になる情報をご提供できるのではないかと存じております。

今後とも、当センター研究部の研究成果はもとより、国内外の質の高い研究成果の発信源として、「大学財務経営研究」を刊行して参りたいと存じます。変わらぬご支援のほど、何卒よろしくお願いを申し上げます。

なお、本紀要中に掲載されている論文に存する意見等は、当センターおよび執筆者の所属・関係する組織の公式見解ではないことを、申し添えさせていただきます。

「大学財務経営研究」編集委員会